

333-C地区 1R2Z



URAYASU LIONS CLUB

獅子吼

40th 2011.9 No.77



浦安ライオンズクラブ

浦安ライオンズクラブの奉仕活動

浦安ライオンズクラブの奉仕活動

青少年健全育成活動

- ・薬物乱用防止教室の開催
- ・薬物乱用防止キャンペーンの実施



環境衛生活動

- ・献血活動
- ・アイバンク献眼推進活動



2011～2012年度 浦安ライオンズクラブスローガン

—— 忘れまい 災害来たこと 受けたこと 心ひとつに We Serve ——

会長挨拶

浦安ライオンズクラブ
第40期会長 L小川 純一郎



7月より第40期がスタートし早や2ヵ月が経ちました。そして未曾有の大震災から半年が過ぎようとしておりますが、まだまだ災害の爪跡は痛ましい限りです。災害の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

今期は会長スローガンとして、

「忘れまい 災害来たこと 受けたこと 心ひとつに We Serve」を掲げ、被災地でもある浦安で我々が為すべき事を一致団結して行ない、少しでも復興のお役に立ちたいというのがクラブ全員の思いです。

このクラブPR誌「獅子吼」が第30回チャリティーゴルフ大会に合わせて発行されることを受けて一言申し上げさせていただきます。皆様の永年のご支援ご協力の下に、お陰様で30回という節目を迎えることが出来ました事を、クラブを代表して厚く御礼申し上げます。このチャリティーゴルフ大会によって得られた収益金の用途につきましては、過去から未来へも一貫して変わることがありませんが、

○社会福祉活動を行なう団体への支援 ○青少年健全育成の為の助成 ○国際親善交流の推進と多岐に亘る活動に有益に活用させていただきます。ライオンズクラブのモットーである、

We Serve（我々は奉仕する）は皆が力を合わせて人道奉仕を行う。助け合う。そういう意味を持っております。この一貫した精神の下これからも活動してまいりますので、今後とも引き続きご支援ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

社会福祉活動

- ・盲導犬支援募金活動
- ・災害支援募金活動



支援アクティビティ

- ・社会福祉協議会
- ・浦安市スカウト連絡協議会
- ・手をつなぐ親の会
- ・浦安市少年野球
- ・浦安青年会議所 青少年事業
- ・盲人留学生交流会
- ・市内盲導犬育成支援
- ・千葉県アイバンク協会



復興にむけて

浦安市長 松崎 秀樹 様



浦安ライオンズクラブは、1972年4月に設立されて以来、福祉の支援、青少年の健全育成、国際親善交流推進など地域に密着した様々な活動にあたっていただき、心より深く感謝申し上げます。

さて、3月に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしましたが、本市でも市域の86%にわたる中町・新町地域において、日本で最大規模の液状化現象に見舞われ、道路をはじめ、上下水道、ガスなどが寸断され、市民生活を送る上で大きな被害を受けました。

現在市では、一日も早い復興に向け全力で取り組んでいるところですが、浦安ライオンズクラブの皆様方には、義援金のご寄付をはじめ、各地域において支援活動にあたられるなど、応急復旧に多大なご貢献を賜りました。

浦安ライオンズクラブが誕生してから40周年という節目を迎えられますが、「We Serve (われわれは奉仕する)」の理念に基づき、これまで以上に結束を固めていただき、地域の復興、そして発展に取り組んでくださいますようお願い申し上げます。

浦安ライオンズクラブアクティビティ

薬物乱用防止教室の開催

浦安ライオンズクラブでは、「薬物乱用防止運動」の一環として、市内小中学生を対象に向け「薬物乱用防止教室」や「薬物乱用防止キャンペーン」を開催し活動を行っております。「薬物乱用防止教室」は、薬物乱用防止教室認定講師のメンバーを中心に(当会現在10名の有資格者)に、浦安警察署のご協力をいただき、市内小中学校にて各学校からの依頼を受け実施しております。

2010年～11年は、日の出小、北部小、明海南小、高洲小、浦安小、富岡小等の6年生とその保護者を対象に開催しました。特に今年2011年7月6日の富岡小におきましては、初めての試みで6年生向けとPTAの方々向けの2部構成で開催、40名を超えるPTAの御父兄の参加を頂き、ライオンズクラブの寸劇にもより一層力が入りました。

この様に、今後より多くの学校にて本教室の開催を広げ、より多くの青少年に対し、正しい知識を学んでいただければと願っております。開催のご要望がありましたら、クラブ事務局までご連絡ください。



薬物の怖さを伝えるDVDによる学習

「浦安鉄筋家族」の著者である浜岡賢次様のご協力により作成した教室用クリアファイル
2010年7月に新バージョンを作成しました。



薬物がどのようにして皆に近づくかの寸劇



「教室に参加した学校からの感想」

Message

<日の出小学校養護ご担当の先生より>

春とは名のみの寒気続く折ですが、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一月中旬には、「薬物乱用防止教室」のため本校に足をお運びいただき、まことにありがとうございました。当日もとても寒い中の開催になりましたが、要点をまとめてあるビデオや、わかりやすいお話しで、子ども達は最後まで真剣に聞くことができたようです。

予防教室開催後に児童にとったアンケートを見ても「薬物乱用が体によくないことはなんとなくわかっていましたが、教室に参加して何故いけないのかよくわかったし、本当に怖いと思った。」などの意見が多く寄せられていました。その他にもたくさんの感想が寄せられました。教室開催後に、保健便りで各家庭へ開催の様子をお知らせしましたので、ご覧ください。

日の出小学校の子ども達が悲しい被害にあうことのないよう、薬物乱用防止教室は続けていく予定です。よりよい指導ができるよう、今後ともご協力いただければ幸いです。

本来ならすぐにでもご挨拶させていただくべきところですが、ご礼状が遅くなって申し訳ありません。本当に、ありがとうございました。

<日の出小学校6年生の感想>

- ・警察署の課長さんの話で、小学6年生や中学生でも薬物を使用して捕まっている事を知って、身近にひそんでいるものだとわかった。
- ・誘った人も、何も知らないで使った人も全部罪になることも知ることもできた。
- ・絶対に使いたくないし、もし友達が使っていたら「やめろ」と言いたい。
- ・薬物のことはくわしく知らなかったのですが、ビデオで薬物の怖さや症状のことがわかりやすく紹介されていて良かったです。
- ・特に最後の警察の人のお話が、こわくてゼッタイに薬物はダメだと感じました。
- ・ビデオに出ていた薬物に投与されたラットが子どもを攻撃している姿を見て、とても怖かったです。
- ・たった一度薬物をやっただけでもすごく怖い影響があるということを知りました。一度でもやったら、もう元の世界に帰れなくなるし、薬の力ってすごく危険なんだとわかりました。

「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師資格」を取得

浦安ライオンズクラブでは現在7名の薬物乱用防止教育ゴールド認定講師の資格所持者がおります。

今後も更に地域の各学校、施設等から依頼された「薬物乱用防止教室」に積極的に参加し、青少年や地域社会の健全育成を図り「薬物乱用防止活動」の一層の普及と向上を実現することを目的とし取組を進めます。



薬物乱用防止キャンペーン

「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止キャンペーンを、2010年10月16日浦安市民まつり会場にて開催しました。薬物乱用防止に関する正しい知識が容易に理解できるよう工夫されたキャラバンカーを展示し、車内の標本や模型、3D映像、ゲームなどを見学、体験してもらいました。



浦安ライオンズクラブアクティビティ

愛の献血運動

献血は、尊い命を救う一人一人の崇高な精神と、多くの方々の善意によって成り立っております。全国のライオンズクラブにおいて献血運動を展開しておりますが、千葉県では県内の献血量の約14パーセントを、県内クラブの献血活動により確保しております。浦安ライオンズクラブでは、千葉県赤十字血液センターと協力し献血バスを年3回ほど配車し、多くの献血協力者を募ってまいります。

年度	採血量
2003年	44,800ml
2004年	71,800ml
2005年	65,400ml
2006年	53,800ml
2007年	66,000ml
2008年	64,000ml
2009年	57,000ml
2010年	40,200ml

実績累計 3,378,500ml

39期活動実績

10年10月 東西線浦安駅前

11年2月 東西線浦安駅前



09年10月28日 日本赤十字社より、長年献血活動実施の功績を称えられ「銀色有功賞」をいただきました。

今期も、3回程度の献血活動を予定しておりますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

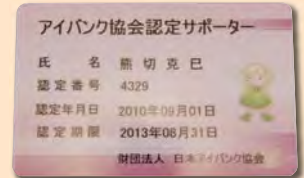
アイバンク献眼推進運動

1925年のライオンズクラブ国際大会に、三重苦の聖女と呼ばれたヘレン・ケラー女史が、ゲストスピーカーとして招かれ、そこで彼女はライオンズクラブに対し「暗闇と戦う盲人のための騎士になってください」と訴えました。以来、ライオンズクラブは視聴障がい者福祉や視力保護の活動に重点を置いております。

日本においてもアイバンク運動をライオンズクラブが中心となり活動を行っております。千葉県アイバンク協会においても、県内ライオンズクラブが中心となり、献眼登録運動やその運営等重要な役割を担っております。

浦安ライオンズクラブにおいてもアイバンク登録運動を展開しております。献眼は角膜移植を必要とされる方々に、ふたたび光を届けることが可能となります。一人でも多くの方の善意とご協力をお願いいたします。

浦安ライオンズクラブでは
現在5名のアイバンク協会
サポーターがおります。



アイバンク顕彰碑ヘレン・ケラー像建立

財団法人 千葉県アイバンク協会
常任理事 内田千尋

平成23年6月1日のヘレン・ケラーデーの日にアイバンク顕彰碑ヘレン・ケラー像建立除幕が行われました。財団法人アイバンク協会は333-C地区が作ったアイバンク協会今年で26年に成ります。創立当初から今まで献眼をご提供いただいた方々が279名おります。その方々を称えと共に後世に伝えておく必要があり顕彰碑を建立致しました。

ヘレン・ケラー像にした理由は、1925年米国オハイオ州セダーポイントでの第9回ライオンズクラブ国際大会の記念講演で、ヘレン・ケラーの「ライオンズの皆さん、この暗闇と戦う盲人のための騎士になって下さい」との歴史に残る名言が会員の心に響き爾来ライオンズに於ける視力保護運動の原点となったのでヘレン・ケラー像の顕彰碑建立と成りました。

建立場所はJR千葉駅東口の広い道を東に向かって行くと千葉中央公園がありその中にあります。

私共アイバンク協会の仕事は盲目の方々に愛の光を与え第2の明るい人生を送ることが出来るよう橋渡しの仕事をしております。今後共メンバー皆様方のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



盲導犬支援募金活動

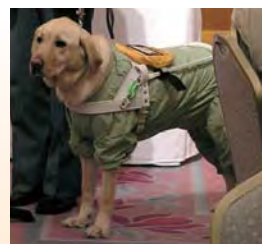


オリオン号、お疲れさま！

お疲れ様 オリオン号

市内初の盲導犬として8年間の仕事を終え8月25日に引退する事になりました。

これからはボランティアに引き取られるのんびり余生を過ごします。ユーザーの佐藤さんも寂しそうです。



年度	募金額
2003年	378,103円
2004年	356,097円
2005年	285,863円
2006年	161,187円
2007年	181,060円
2008年	90,209円
2009年	110,545円
2010年	68,470円

実績累計 3,273,771円

盲導犬協会の募金箱を、市内の事業所に設置し管理を行っております。

浦安ライオンズクラブアクティビティ

「手をつなぐ親の会」クリスマス会への支援

浦安市総合福祉センターにて「手をつなぐ親の会」の恒例クリスマス会が行われますが、浦安ライオンズクラブの奉仕活動において、一番永く継続して行われているボランティア活動です。クラブで用意したクリスマスプレゼントを、メンバーのサンタクロースがお一人お一人にプレゼントしております。



浦安市スカウト連絡協議会への支援

社会教育として青少年の成長に貢献しているスカウト運動への支援を行っております。

ボーイスカウト浦安第1団
ボーイスカウト浦安第2団
ガールスカウト千葉県第60団
ガールスカウト千葉県第80団



「東日本大震災では“人の役に立つ”活動をしました」

浦安市スカウト連絡協議会 会長 吉川正弘

ボーイスカウト、ガールスカウトには、「ちかいとおきて」と「やくそくとおきて」があります。その中のひとつに、人の役に立つことを心がけ、いつも他の人々を助けます・・と定めています。

今回の東日本大震災においていち早く彼らは活動を開始して、その実践を行いました。市内のボランティアセンターが立ち上ると駆けつけて、市内各地でドロカきやさまざまなボランティア活動に参加しました。

県内においても、3月19日にはいち早く募金活動が始まり、8月まで延べ3,300人が参加し、1,200万円の募金が集まりました。また旭市や東北地方への支援活動も積極的に参加しています。

・・・夏キャンプの状況を報告します・・・

【ボーイスカウト浦安第1団】

夏季キャンプ・・・8月11日～14日、長野県北ハヤ岳蓼科南麓・望月少年自然の家で団全員でキャンプを行いました。

【ボーイスカウト浦安第2団】

4年に一度の『第22回世界スカウトジャンボリー』が、スウェーデンで開催され、浦安第2団からスカウト4名が派遣されました。

7月25日に出発、8月9日に大きな成果を持って、元気に帰国しました。

夏季キャンプ・・・8月3日～7日、埼玉県神川町・城峯公園キャンプ場で団全員のキャンプを行いました。

【ガールスカウト千葉県第60団】

夏季キャンプ・・・8月20日～22日、奥多摩・ふるさと村でキャンプを行いました。



Message

東日本大震災における支援活動

災害募金活動

浦安ライオンズクラブと地区ブラザークラブである浦安中央ライオンズクラブと合同で、2011年4月8日メトロ東西線浦安駅前にて、東日本大震災の募金活動を実施しました。



災害義援金の寄付

浦安市に災害義援金の寄付を行いました。浦安市災害対策本部(浦安市文化会館内)にて、熊切会長より松崎市長に義援金を手渡しました。



募金箱の設置

東日本大震災の災害義援金募金箱を、市内の企業様や商店様に設置をお願いしました。ご協力有難うございます。



ご支援有難うございました

被災地である浦安市に対し、提携クラブである三浦ライオンズクラブ、同地区のブラザークラブである市川ライオンズクラブ、市川東ライオンズクラブより、ご支援をいただきました。



三浦LCと市内災害状況視察

浦安市少年野球への支援

浦安市野球協会学童部では、世界野球大会日本代表予選を兼ね毎年7月に少年軟式野球世界大会(全国ブロック大会)を市内で行っております。野球を通じ青少年健全育成への活動に対し支援を行っております。



盲人留学生交流会支援

「ジュエリーボックス第14回盲人留学生交流会」は盲人留学生が視覚障がいを持ちながら、言葉も文化も異なる日本で、鍼・灸・マッサージなどを学んで自国にもどり、自立を目指す若者たちを励ますことを目的とした交流会です。



ライオンズクラブとは

「ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体」

ライオンズは、世界の平和と地域社会の幸福を願い、世界中で地域社会のニーズに応えるために活動している、202カ国130万人の国際的なネットワークです。

スローガン

<i>Liberty</i>	自由を守り
<i>Intelligence</i>	知性を重んじ
<i>Our</i>	われわれの
<i>Nation's</i>	国の
<i>Safety</i>	安全をはかる

モットー

1954年採択

We Serve(われわれは奉仕する)

「私」ではなく「われわれ」であるところが、ライオンズクラブの特徴です。皆が力を合わせ人道奉仕を行い、助け合う。そういう組織のモットーです。

ライオンズの誓い

「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」

ライオンズクラブの目的

1917年起草 1919年採択

- ・世界の人びととの間に相互理解の精神をつちかい発展させる
- ・よい施設とよい公民の原則を高揚する
- ・地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す
- ・友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる
- ・一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない
- ・奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める



国際会長テーマ Dr. ウィンクン・タム

I BELIVE～信じる

333-C地区ガバナー スローガン L 金井一夫(八千代LC)

「愛する地域に育む奉仕」 一心豊かにウイサーブー

ライオンズクラブは国際的であり、世界最大の奉仕団体です。現在202カ国と地域、約130万人もの会員で構成されており、日本は世界第3位のライオンズ国です。千葉県(ライオンズクラブ国際協会333-C地区)でも135クラブ、約3,600名のが奉仕活動をしております。

私たちの社会は自分だけでは成り立ちません。世界の平和と社会の幸せを願うライオンズクラブ員は、地域社会の方々の協力を得ながら、労力と時間と賃金を提供し、広く社会福祉に役立つ奉仕活動を行っております。

LCIF(ライオンズクラブ国際財団)

ライオンズクラブ国際財団は、ライオンズクラブの活動を支援するために設立された財団で、ライオンズクラブ国際協会の人道事業に資金を提供してサポートしております。LCIFの交付金を利用することで、ライオンズは個別に行う以上の奉仕を実施することが出来るのです。

LCIFの交付金はすべて献金によるもので、運営費は投資による利息のみによって賄われております。



メルビン・ジョーンズ・フェロー

LCIFへの献金をしたメンバーに贈られる称号です。

2010年 L内田(17回)、L古河(12回)、L丸茂(8回)、
L金子(康)(6回)、L芝田(初回)



2010年8月例会にて
メルビン・ジョーンズ・フェロー伝達 L古河守男(13・14回目)
L小川純一郎(2回目)

浦安ライオンズクラブ活動紹介

第94回国際大会 米国ワシントン州シアトル大会

1917年以来、毎年ライオンズ会員が世界中から集まり、国際大会を祝っています。多くのライオンズ会員とその家族にとって大会への出席は毎年の恒例行事になっており、初めての土地を訪れたり異文化を経験する楽しみな機会となっています。



次回は2012年6月 韓国 釜山

初めての国際大会に参加して

し小川 純一郎

「Are You Lines?」(アー ユー ラインズ?)・・・ム?! 私にはそう聞こえたのです。ハッと Oh Yes! I am Lions. と答えました。

読むと聞くのでは大違いです。ライオンズは「ラインズ」と聞こえるのです。

同様に、シアトルは「シアロー」と発音するのです。

冒頭のやりとりは、シアトル国際空港に到着して入国審査を受けた時のことです。

世界206ヵ国、136万人の会員の中から1万3142人の会員がここ米国ワシントン州シアトル市に集結し、7月4日～8日の間 第94回国際大会が開催されました。

現地の添乗員さんが言うことには、シアトル市内のメインストリートを封鎖してライオンズクラブのインターナショナル・パレードの為に使用するなど、今までに見たことも聞いたことも無いことだそうです。

大会期間中、会場やその周辺にはアジア人・ヨーロッパ人・アフリカ人そして地元アメリカ人等々で一杯ですが、お互いライオンズマンと分かると気軽に声をかけ合うのです。

日本人同士で会おうものなら、まるで親戚の人に会ったように親しみを持って話合います。

国際協会ライオンズクラブって何てすごい団体なんだ。

こんなに仲間意識の強い、そして誰からも認められる組織があるのだろうか。あっという間の一週間でしたが、ライオンズクラブに入会していて良かった。そしていつか又国際大会に参加してみたい。そんな印象深い思い出です。

333C地区 地区年次大会

提携クラブとの交流



丸茂Lのピンバッジコレクションを展示しました。



米国エルカミノライオンズクラブとの懇親会

アジアフォーラム

2010年11月18～21日の間「49回OSEALフォーラム」が台湾・高雄において開催し、浦安ライオンズクラブのメンバーも参加しました。国際会長を囲んでの晩餐会や、ジャパンレセプションなど多彩なプログラムが用意されて、台湾のLCメンバーとも活発な交流が出来ました。



「チャリティーゴルフ大会」開催の趣旨

浦安ライオンズクラブ主催のチャリティーゴルフ大会開催の目的は、クラブの各アクティビティ(奉仕活動)に利用される事業予算として、地域社会からの収益としてゴルフ参加者様より事業費をチャリティーしていただくことにあります。その事業費はクラブの運営費に利用するのではなく、クラブメンバーのドネーション(会員の寄付金)とともに、すべてアクティビティのための資金として利用される予算となります。その収益金(事業費)は、クラブ会則により、クラブ運営のために支出することを禁止されていることは、他の奉仕団体とは根本的に異なるところで、この事実はライオンズクラブの誇りとするところです。

毎年恒例の開催としておりますが、厳しい社会情勢、経済環境ではございますが、今後ともさらに当クラブ活動をご理解いただくと共に、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



あなたも「浦安ライオンズクラブ」で活躍しませんか!



ライオンズクラブの会員は、各地域で「仕事をしながら地域に役立つ奉仕活動しよう」と集まった人たちです。

ライオンズクラブでは奉仕活動のことを「アクティビティ」と呼び、一般にボランティア団体では、ある特定の奉仕分野に特化して、専門的に活動されることが多いですが、ライオンズクラブの活動分野は非常に多岐にわたり取り組んでおります。地域社会をよくするために活動を実行し、地域のニーズがあれば何にでも取り組む姿勢があるのがライオンズクラブの特徴です。さらに活動のフィールドも地域を中心に、地区キャビネット、国際協会本部やLCIFを通じて、県内・国内そして国際的にも貢献の場が広がります。

Activities

地域社会の力になれ

青少年の育成や、障がい者への支援活動等、あなたの時間と能力を奉仕活動に活かすことができます。

Friendship

友情で結ばれた仲間

さまざまな奉仕活動を通じて、職業や年齢の違いを超えた多くの仲間と、厚い絆を育むこととなります。

International

世界に広がる組織の一員

ライオンズクラブは国際的なネットワークです。国境を越えた奉仕活動や、世界中の会員同士の交流を経験することができます。

Ability

自分の中の能力を伸ばす

各種活動や行事への参加等ライオンズクラブでは、リーダーシップを磨く実践の場があります。ビジネスの現場でも役立つスキルが身に付きます。

ライオンズクラブは、地域社会の生活、文化福祉向上等の奉仕活動を展開し、世界平和を願う、世界最大の奉仕団体です。社会の役に立ちたいとお考えの方にとり、ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。ライオンズクラブの一員となることで、社会に貢献しながら、自分の人生をより豊かに変えることができます。ぜひあなたも「浦安ライオンズクラブ」で奉仕活動を実践しませんか。

ライオンズクラブ発行の広報誌



浦安ライオンズクラブのご案内



浦安ライオンズクラブの歩み

1971/10 浦安ライオンズクラブ結成
1974/10 三浦ライオンズクラブと姉妹提携
1980/2 米国エルカミノクラブと1R姉妹提携
1981/10 第1回チャリティーゴルフ大会開催
1985/5 財団法人千葉県アイバンク協会設立に寄付
1986/6 浦安シーサイドライオンズクラブ結成をスポンサー
1989/4 浦安市100周年記念表彰式参加
1990/1 浦安市とオーランド姉妹都市提携の記念植樹

1993/7 浦安中央ライオンズクラブ結成をスポンサー
1999/5 盲導犬助成チャリティーディナーショー主催
2007/5 浦安ライオンズクラブ35周年記念式典にて、
防犯パトカー寄贈

題字 関根 薫園氏
浦安ライオンズクラブ会報
「獅子吼」初号



浦安ライオンズクラブ誕生の記録

333-C地区 1R 2Z 所属
スポンサークラブ 市川ライオンズクラブ
結成式 1971年10月3日
認証式 1972年4月16日
日本国内で1623番目のクラブとして発足

提携クラブ

- 三浦ライオンズクラブ(330-B 8R 3Z)
- 米国アナハイム市ブラックファーストライオンズクラブ
1982年12月3日 代表L6名 訪米し調印
1983年5月15日 代表L2名 訪日、訪浦し調印
- 米国カリフォルニアガーデナー市
エルカミノライオンズクラブ(4L3) (1R提携)

理事会・例会会場

理 事 会：浦安ライオンズクラブ事務局(浦安商工会議所1F)
第1例会：ヒルトン東京ベイ(舞浜) 第2例会：サンルートプラザ東京(舞浜)

40期役員

会 長	L 小 川 純一朗	一 年 理 事	L 亀 井 正 博
前 会 長	L 熊 切 克 巳	二 年 理 事	L 丸 茂 陽 一
第 一 副 会 長	L 高 梨 良 茂	二 年 理 事	L 佐久間 清
第 二 副 会 長	L 増 田 勉	二 年 理 事	L 内 山 昌 紀
幹 事	L 渡 辺 清 昭	会 員 理 事	L 廣 瀬 直 樹
会 計	L 皆 川 光 司	テールツイスター	L 芝 田 錦 一
一 年 理 事	L 指 田 勝 希	ライオンテーマー	L 飯 盛 保 之
一 年 理 事	L 金 子 康 行	副ライオンテーマー	L 布 施 元 伸



松崎市長と三役(市長室にて)

事務局のご案内



〒279-0004

浦安市猫実1-19-36 浦安商工会議所会館内

TEL 047-353-2203

FAX 047-350-0729

E-mail mail@urayasu-lc.jp

URL http://www.urayasu-lc.jp/



WWW.URAYASU-LC.JP